

林野庁プレスリリース(10月)

- 森林農地整備センター(旧緑資源機構)の入札監視のための委員会(10/2)
- 「平成20年木材(用材)需給見通しの見直し」(10/3)
- 「主要木材の短期需給見通し(平成20年第4四半期及び平成21年第1四半期)」(10/3)
- 平成20年度間伐・間伐材利用コンクール(10/8)
- 第1回木材利用に係る環境貢献度の「見える化」検討会の概要(10/9)
- 林政審議会の概要(10/9)
- 林野庁直轄事業の発注業務に係るアンケート調査結果(10/20)
- 林政審議会委員を募集(10/20)
- 「全国森林計画(案)」についての意見・情報の募集結果(10/21)
- 全国森林計画の策定(10/21)
- 林政審議会施策部会の開催及び一般傍聴(10/23)
- 石破農林水産大臣及び石田農林水産副大臣の第32回全国育樹祭への出席(10/24)
- 第2回木材利用に係る環境貢献度の「見える化」検討会の開催(10/24)
- 福井県内の一部の森林に対する森林国営保険の保険金追加支払(10/24)
- 第3回林政審議会施策部会森林整備保全小委員会の開催及び一般傍聴(10/30)
- 第44回国際熱帯木材理事会の開催(10/30)
- クリーン開発メカニズム(CDM)プロジェクト政府承認審査結果(10/31)

林野庁 一口メモ

大学生がデザインした割り箸袋が大好評！

東京芸術大学デザイン科で学んでいる学生が、「より興味が湧き、より使いたくなる」をコンセプトに国産材割り箸袋をデザイン。9月下旬から10月にかけて農林水産省内「消費者の部屋」や林野庁内でも展示され、来場者の注目を集めていました。

箸袋の製作にあたっては、日本の文化・日本の心をテーマにした「和」、国産材・間伐材をテーマにした「木」、既存概念にとらわれない新しさをテーマにした「新」という三つのテーマを掲げています。



編集 後記

今、シヨッピングセンターのおもちゃ売り場に行くとき、木製玩具がかなりのスペースを占めている。そのなかに、大量生産できないものの、間伐材を使った積み木や模型玩具などが売り場に並ぶこともある。玩具に高い安全性と、子どもに木のぬくもりを体感させたいと考える保護者が増えてきており、木製玩具の需要も高まっているという。高知県馬路村の取組をはじめ、全国各地で行われている間伐材を活用した玩具作り事業がさらに活性化すれば、間伐材を使った一大産業になることも期待できる。今後の国産木製玩具業界の動きに、一消費者として注目したい。

林野 RINYA 11月号 No.20

平成20年11月15日発行

発行●林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集●camp damian

東京都足立区千住東2-21-25-413

印刷●松尾印刷株式会社

東京都港区虎ノ門5-8-12

<http://www.rinya.maff.go.jp/>